

別表2

教育課程

国際ビジネス科					
国際ビジネスコース					
一般専門の別	科目名	授業時間			単位
		1年次	2年次	計	
一般 教 養 科 目	日本語表現 I	30		30	2
	日本語表現 II		30	30	2
	※日本語総合演習A	30		30	2
	※日本語総合演習B		30	30	2
	パソコン基礎A	30		30	2
	パソコン基礎B	30		30	2
	パソコン応用A		30	30	2
	パソコン応用B		30	30	2
	就職支援講座A	30		30	2
	就職支援講座B		30	30	2
	能力試験対策A(語彙)	30		30	2
	能力試験対策B(文法)	30		30	2
	能力試験対策C(読解・聴解)	30		30	2
	能力試験対策D(語彙)		30	30	2
	能力試験対策E(文法)		30	30	2
	能力試験対策F(読解・聴解)		30	30	2
	※コミュニケーション英語A	30		30	2
	※コミュニケーション英語B		30	30	2
	小計 必履修	210	210	420	28
	選択	60	60	120	8
計	270	270	540	36	
専 門 科 目	企業実務		30	30	2
	サービススキル実務		30	30	2
	マーケティング基礎	30		30	4
	マーケティング実務		30	30	4
	※簿記A	15		15	1
	※簿記B		15	15	1
	※会計・財務		15	15	1
	※貿易実務		15	15	1
	比較文化論	30		30	2
	※国際理解		30	30	2
	※世界情勢		30	30	2
	ホテルマネジメント I	30		30	2
	ホテルマネジメント II		30	30	2
	地域観光産業 I	30		30	4
	地域観光産業 II		30	30	4
	ビジネス日本語A	30		30	2
	ビジネス日本語B		30	30	2
	ビジネスコミュニケーション	30		30	2
	ビジネスプレゼンテーション	30	15	45	3
	※ビジネスマナー	15		15	1
	※ビジネス検定対策		15	15	1
	※インターンシップ	15		15	1
	卒業研究		15	15	1
小計 必履修	210	210	420	36	
選択	45	120	165	11	
計	255	330	585	47	
総計	525	600	1,125	83	

1. ※ は自由選択科目

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	異文化理解		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・1	504	
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
教科書のテーマや会話活動を通じて日本文化と自国文化を比較し、多様な価値観への理解を深めます。自分の考えを日本語で表現し、異なる意見を尊重しながらコミュニケーションできる力を養います。		No.	日付	授業内容
		1	4/13	ガイダンス 私の町①
2. 目標検定・資格		2	4/20	私の町②
		3	4/27	私の町③
受験対象		4	5/11	日本の文化①
		5	5/18	日本の文化②
実施日		6	5/25	日本の文化③
3. 学習上の留意点		7	6/1	クールジャパン 活動準備
異文化理解には唯一の答えがありません。考える過程や意見交換することが大事です。学校生活、アルバイト、地域社会など実生活で経験する場面と結びつけて考えましょう。		8	6/8	クールジャパン グループ活動①
		9	6/15	クールジャパン グループ活動②
4. テキスト		10	6/22	クールジャパン グループ活動③
なし		11	6/29	クールジャパン 発表練習①
5. 成績評価の方法・基準		12	7/6	クールジャパン 発表練習②
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		13	7/13	クールジャパン 発表①
		14	7/27	クールジャパン 発表②
		15	8/3	振り返り
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	地域観光産業研究		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	月・2	504
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	4
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
日本の地理的特徴を学び、それぞれの地域にある観光地や文化資源について理解を深めます。地理と観光の関係(自然環境、歴史、産業など)を学ぶことで、日本各地の魅力を多角的に捉えられるようになります。学んだことを元にインバウンド向け観光モデルコースを考え発表します。		No.	日付	授業内容
		1	4/13	ガイダンス 日本の基本情報について
2. 目標検定・資格		2	4/20	北海道地方①
		3	4/27	北海道地方②
実施日		4	5/11	北海道地方まとめ
		5	5/18	東北地方①
3. 学習上の留意点		6	5/25	東北地方②
		7	6/1	東北地方まとめ
4. テキスト		8	6/8	グループ研究
		9	6/15	グループ研究
5. 成績評価の方法・基準		10	6/22	関東地方①
		11	6/29	関東地方②
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		12	7/6	関東地方まとめ
		13	7/13	中部地方①
評価試験		14	7/27	中部地方②
		15	8/3	中部地方まとめ
		なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F
講義名	ビジネス日本語A	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	通年	月・3	504
担当者	森 実紀	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
		有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
就職活動や社会で必要な日本語やビジネスマナーを身につける。	No.	日付	授業内容
	1	4/13	ガイダンス 自己紹介① 自己紹介で話す内容
2. 目標検定・資格	2	4/20	自己紹介② 好印象を与える話し方
	3	4/27	ビジネスマナー① あいさつ
実施日	4	5/11	ビジネスマナー② 服装
	5	5/18	敬語の基本① 尊敬
3. 学習上の留意点	6	5/25	敬語の基本② 謙譲
	7	6/1	敬語の基本③ ウチとソト
4. テキスト	8	6/8	電話のマナー・敬語
	9	6/15	メールのマナー・敬語
5. 成績評価の方法・基準	10	6/22	会社の人と話す① お願いする
	11	6/29	会社の人と話す② 断る
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	7/6	会社の人と話す③ お詫びする
	13	7/13	期末試験対策
	14	7/27	期末試験
	15	8/3	期末試験FB
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F
講義名	JLPT対策A(語彙)	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	通年	火・1	401
担当者	永山 友希江	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
		有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容					

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>JLPTの文字語彙分野に特化した対策授業です。漢字の読み書き、語彙の意味理解、文脈に応じた適切な語の選択などを中心に学習します。頻出語彙や出題傾向を意識した問題演習を繰り返し行い効率的に語彙力を強化します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>効率よく語彙を覚える為、漢字は「読み・意味・例文」をセットで覚え、文脈理解を意識すること。類義語や似ている漢字の違いに注意し、使い分けを理解すること。語彙は一度に覚えるのではなく繰り返し学習が大事です。毎日短時間でも継続して学習する習慣を身に付けましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/14	演習①
		2	4/21	演習②
		3	4/28	演習③
		4	5/12	演習④
		5	5/19	演習⑤
		6	5/26	演習⑥
		7	6/2	演習⑦
		8	6/9	演習⑧
		9	6/16	演習⑨
		10	6/23	演習⑩
		11	6/30	演習⑪
		12	7/7	演習⑫
		13	7/14	演習⑬
		14	7/21	演習⑭
15	7/28	演習⑮		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	英語TOEIC		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火・2	401
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
英語コミュニケーション能力の指標として広く活用されているTOEIC対策を行う授業です。リスニングおよびリーディングの各パートの出題形式や解答テクニックを体系的に学びながらビジネス場面で実際に役立つ英語力の向上を目指します。		No.	日付	授業内容
		1	4/14	ガイダンス レベルチェック
2. 目標検定・資格		2	4/21	演習①
		3	4/28	演習②
実施日		4	5/12	演習③
		5	5/19	演習④
3. 学習上の留意点		6	5/26	模擬試験 (リスニング)
		7	6/2	模擬試験 (リーディング)
4. テキスト		8	6/9	演習⑤
		9	6/16	演習⑥
5. 成績評価の方法・基準		10	6/23	演習⑦
		11	6/30	演習⑧
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		12	7/7	模擬試験 (リスニング)
		13	7/14	模擬試験 (リーディング)
評価試験		14	7/21	演習⑨
		15	7/28	演習⑩
		なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	キャリアデザインA		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・3	504	
担当者	山田 優子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
日本の就職活動を理解し、求められる能力や資格についての確認をする。 ホテルなどの宿泊業に従事することをイメージできるようにする。 希望する業界・職種・地域を選定し、日本で就職活動ができるよう準備をする。		No.	日付	授業内容
		1	4/14	日本での就職活動について (就労ビザ、日本語能力、日本企業のマナー)
2. 目標検定・資格		2	4/21	日本の就活スケジュールについて (スケジュールの説明、選考試験とは、面接のマナー)
		3	4/28	ホテル・旅館等「宿泊業」の業界研究
実施日		4	5/12	ホテル・旅館等「宿泊業」の業界研究
		5	5/19	ホテル見学ビジネスホテル
3. 学習上の留意点		6	5/26	求人票・募集内容の見方と比較の仕方 給与の額面と手取りの違い
留学生にとって日本での就職は複雑で難しいもの に変わってきている。 社会人に求められるものを理解し、希望する就職 ができるように、積極的に聴く・書く・話すを心 がけて授業に参加すること。		7	6/2	自己分析 長野キャリア形成・リスクリング支援 センター
		8	6/9	自己分析①
4. テキスト		9	6/16	自己分析②
なし		10	6/23	就職希望調査 (第1回)
		11		インターンシップとは (リゾートホテル)
5. 成績評価の方法・基準		12		インターンシップ (リゾートホテル)
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授 業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		13		インターンシップ (リゾートホテル)
		14		インターンシップ (リゾートホテル)
		15	7/28	就職希望調査 (第2回) と発表
		評価 試験	なし	就職希望調査やレポートの提出と内容を試験 代替りの評価とする

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	パソコン基礎A		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・1	504	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)				
<p>パソコンスキルは今後どのような仕事をするにも欠かせない技術です。 本講座では、パソコン操作の基礎、タイピング、文書作成ソフトMicrosoft Wordを学びます。</p> <p>日本のビジネス文書には一定のフォーマットがあります。効率よく美しい文書を作成できる手順、技術の習得を目指します。</p>	No.	日付	授業内容		
	1	4/15	タイピング練習		
2. 目標検定・資格	受験対象		2	4/22	Windowsの基本操作
	実施日		3	5/13	Word基本操作
3. 学習上の留意点	1回1回の授業が大切です。欠席しないよう、健康に気をつけてください。		4	5/20	文書作成(入力)
	人によって進行状況は異なります。人と比べず自分の課題を一つ一つクリアしていきましょう。まずは日本語をパソコンで入力できるようにしていきます。ただできるようになるだけでなく、早く正確に入力することを心がけましょう。		5	5/27	文書作成(入力)
4. テキスト	なし		6	6/3	文書作成(編集)
	5. 成績評価の方法・基準		7	6/10	文書作成(編集)
出席率80%以上必須		8	6/17	文書作成(表作成)	
A 総合評価 90点以上		9	6/24	文書作成(表作成)	
B 総合評価 70点以上、90点未満		10	7/1	文書作成(図の挿入)	
C 総合評価 60点以上、70点未満		11	7/8	文書作成(図の挿入)	
D 総合評価 60点未満→単位不認定		12	7/15	文書作成(ページ設定、印刷設定)	
※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		13	7/22	文書作成(ページ設定、印刷設定)	
		14	7/29	前期期末試験	
		15	7/31	前期まとめ	
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	プレゼンテーション基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・2	504	
担当者	高沢 貴子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
本講義では、日本語でのプレゼンテーション能力を段階的に育成することを目的とし、前期・後期を通して「伝わる話し方」「わかりやすい構成」「聞き手を巻き込む対話力」を総合的に身に付けます。前期はスピーチの基礎、非言語コミュニケーションを中心に、短いスピーチやミニプレゼンを繰り返しながら表現力の土台を作ります。また、緊張のメカニズムを理解し、緊張緩和トレーニングを取り入れ、心理的ハードルを下げる内容も実践します。		No.	日付	授業内容
		1	4/15	授業の概要と目的説明 プレゼンテーションとは？
受験対象		2	4/22	プレゼンテーションに必要なこと 良いプレゼンの要素 グループワーク
		3	5/13	インタラクティブ活動：1.2の内容を自己紹介に活かす 相互質問
実施日		4	5/20	非言語①：姿勢・視線・表情
		5	5/27	非言語②：声・間・ジェスチャー
3. 学習上の留意点		6	6/3	緊張をとるトレーニング：緊張のメカニズム 呼吸法 体の力を抜くペアワーク
まずは人前で話すことに慣れ、スピーチ力、プレゼンテーション能力を高めるために、積極的な姿勢で授業に望んでください。		7	6/10	スピーチの構成：短いスピーチの型 例文分析 2分間スピーチ作成 フィードバック
		8	6/17	ストーリーテリング 2分間スピーチ インタラクティブスピーチ
4. テキスト		9	6/24	スピーチとプレゼンの違い メッセージの作り方 スライドデザイン
		10	7/1	スライドで伝える①
5. 成績評価の方法・基準		11	7/8	スライドで伝える②
		12	7/15	ミニプレゼン練習① 構成チェック フィードバック
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		13	7/22	ミニプレゼン練習② 非言語チェック フィードバック
		14	7/29	前期最終プレゼンに向けてのまとめ
評価試験		15	7/31	前期最終プレゼンテーション
		なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	ホテルマネジメント		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・3	504	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
世界に誇れる日本のホスピタリティ。そのホスピタリティがあふれるホテル業界の基礎知識を学びます。ホテル業務の中心である宿泊部門に関する知識についても学習します。		No.	日付	授業内容
		1	4/15	ホテルとは何か
2. 目標検定・資格		2	4/22	ホテルの分類
		3	5/13	ホテルの歴史
3. 学習上の留意点		4	5/20	ホテル産業の特徴
		5	5/27	ホテルにおけるサービス、心得
4. テキスト		6	6/3	ホテル内でのマナー
		7	6/10	社員間のコミュニケーションとレベルアップ
5. 成績評価の方法・基準		8	6/17	ホテルマンに求められるスキル
		9	6/24	ホテル内での様々な職種
なし		10	7/1	宿泊部門の基礎知識 客室の構造によるタイプの分類
		11	7/8	宿泊部門の基礎知識 客室の名称
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		12	7/15	宿泊部門の基礎知識 料金設定
		13	7/22	宿泊部門の基礎知識 予約、チェックイン、チェックアウト
評価試験		14	7/29	期末テスト
		15	7/31	まとめ
		なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	JLPT対策B(文法)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・1	401	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
JLPTの文法分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。		No.	日付	授業内容
		1	4/9	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認
2. 目標検定・資格		2	4/23	実践問題
		3	4/30	実践問題
実施日		4	5/7	模擬試験①
		5	5/14	実践問題
3. 学習上の留意点		6	5/21	実践問題
		7	5/28	実践問題
4. テキスト		8	6/4	模擬試験②
		9	6/11	模擬試験③
5. 成績評価の方法・基準		10	6/25	模擬試験④
		11	7/2	模擬試験⑤
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		12	7/9	期末試験対策①
		13	7/16	期末試験対策②
なし		14	7/23	期末試験
		15	7/30	期末試験FB
評価試験		なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	JLPT対策C(聴読解)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・2	401	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
JLPTの聴読解分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。	No.	日付	授業内容
	1	4/9	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認
	2	4/23	実践問題
	3	4/30	実践問題
	4	5/7	模擬試験①
2. 目標検定・資格	5	5/14	実践問題
	受験対象		
実施日	6	5/21	実践問題
3. 学習上の留意点	7	5/28	実践問題
毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。	8	6/4	模擬試験②
読解の長文は漢字・語彙・文法も効果的に学ぶことができます。自宅での復習として精読をおすすめします。	9	6/11	模擬試験③
4. テキスト	10	6/25	模擬試験④
なし	11	7/2	模擬試験⑤
5. 成績評価の方法・基準	12	7/9	期末試験対策①
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	13	7/16	期末試験対策②
	14	7/23	期末試験
	15	7/30	期末試験FB
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	パソコン基礎B		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木・3	504
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
パソコン基礎Bの授業の中では、日本語の入力技術の習得と並行してMicrosoft Excelの使い方を学びます。 あらゆる業務のなかで使用されているExcelの技能を身に着けます。計算や表作成、グラフ作成など就職後も活かせるための講義を行います。	No.	日付	授業内容
	1	4/9	オリエンテーション、スキルチェック
2. 目標検定・資格	2	4/23	Windowsの基本操作(1)
	3	4/30	Windowsの基本操作(2)
受験対象	4	5/7	Excelの基本(1)
	5	5/14	Excelの基本(2)
実施日	6	5/21	Excelの基本(3)
	7	5/28	データの編集(1)
3. 学習上の留意点	8	6/4	データの編集(2)
1回1回の授業が大切です。欠席しないよう、健康に気をつけてください。 人によって進行状況は異なります。人と比べず自分の課題を一つ一つクリアしていきましょう。 まずは日本語をパソコンで入力できるようにしていきます。ただできるようになるだけではなく、早く正確に入力することを心がけましょう。	9	6/11	データの編集(3)
4. テキスト	10	6/25	表の編集(1)
	11	7/2	表の編集(2)
5. 成績評価の方法・基準	12	7/9	表の編集(3)
	13	7/16	グラフの作成(1)
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	14	7/23	期末試験
	15	7/30	まとめ
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F
講義名	ビジネスコミュニケーション	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	通年	金・1	504
担当者	荻矢 貴美	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
		有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
ビジネス現場で求められるコミュニケーション能力を身につけるため、その基礎を理解し実践も取り入れ必要とされる能力の向上を目指す。自分を理解してもらうための表現力を身に付ける。	No.	日付 授業内容
	1	4/10 2年間の目標設定
2. 目標検定・資格	2	4/17 コミュニケーションの重要性
	3	4/24 日本の会社で働くための心構え
実施日	4	5/1 キャリアプランニング
	5	5/8 自己分析、他己分析
3. 学習上の留意点	6	5/22 自分の魅力をみんなに発表しよう
	7	5/29 効果的なプレゼンテーション (構成・資料の作り方)
4. テキスト	8	6/5 効果的なプレゼンテーション (構成・資料の作り方)
	9	6/12 価値観発見ワーク
5. 成績評価の方法・基準	10	6/19 RIASECのタイプ分析
	11	6/26 自分の興味・能力・価値観にあう環境/仕事の探し方
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	7/3 香りのコミュニケーション (アロマ)
	13	7/10 社会人の話を聞く (ゲスト講師)
評価試験	14	7/17 内定した先輩の話①
	15	7/24 まとめ
	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	経営学入門		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・2	504	
担当者	小林 雅典		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
一般的な経営学の基礎知識をもとに、日本の会社形態や組織の仕組みなどのビジネスの基礎を学ぶことを通じて、日本の組織で働くプロフェッショナルとしての自覚を持ち、現場で直面する問題に対して主体的に行動できる基礎能力を培うことを目的とする。		No.	日付	授業内容
		1	4/10	日本の会社・組織形態
2. 目標検定・資格		2	4/17	ビジネスマナー・報連相
		3	4/24	経営理念・経営ビジョン・行動指針
実施日		4	5/1	成長戦略
		5	5/8	競争戦略
3. 学習上の留意点		6	5/22	イノベーション・技術革新
		7	5/29	産官学金連携
世界と日本では、ビジネスモデルや会社の仕組みが大きく異なります。そのような違いを理解しながら、戦略や組織などについて広く学んでいきます。		8	6/5	ローカルビジネス
		9	6/12	組織構造
4. テキスト		10	6/19	組織文化
		11	6/26	モチベーション・リーダーシップ
5. 成績評価の方法・基準		12	7/3	5Sとカイゼン
		13	7/10	工程分析・作業分析
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	7/17	半期の振り返り
		15	7/24	まとめ
評価試験		なし	※評価は各回のレポート課題	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	マーケティング基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・3	401	
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	4	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになることを目的とする。 また、グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになることを目指す。	No.	日付	授業内容
	1	4/10	ガイダンス
2. 目標検定・資格 受験対象 実施日	2	4/17	マーケティングは何か 概論
	3	4/24	マーケティング活動①(環境分析)
	4	5/1	マーケティング活動②計画を立てる
	5	5/8	マーケティングミックス(商品戦略)
	6	5/22	マーケティングミックス(価格戦略)
	7	5/29	マーケティングミックス(流通戦略)
	8	6/5	マーケティングミックス(コミュニケーション戦略)
	9	6/12	外部講師(予定)
	10	6/19	企業の事例研究
	11	6/26	企業の事例研究
	12	7/3	商品企画
	13	7/10	プロモーション
	14	7/17	発表
	15	7/24	まとめ
	3. 学習上の留意点	評価	なし
マーケティングを社会に出てから必要になると考え、興味を持って授業に参加してください。	試験	なし	
4. テキスト	なし		
5. 成績評価の方法・基準	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	異文化理解		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・1	504	
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>教科書のテーマや会話活動を通じて日本文化と自国文化を比較し、多様な価値観への理解を深めます。自分の考えを日本語で表現し、異なる意見を尊重しながらコミュニケーションできる力を養います。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>異文化理解には唯一の答えがありません。考える過程や意見交換することが大切です。学校生活、アルバイト、地域社会など実生活で経験する場面と結びつけて考えましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/13	ガイダンス 私の町①
		2	4/20	私の町②
		3	4/27	私の町③
		4	5/11	日本の文化①
		5	5/18	日本の文化②
		6	5/25	日本の文化③
		7	6/1	クールジャパン 活動準備
		8	6/8	クールジャパン グループ活動①
		9	6/15	クールジャパン グループ活動②
		10	6/22	クールジャパン グループ活動③
		11	6/29	クールジャパン 発表練習①
		12	7/6	クールジャパン 発表練習②
		13	7/13	クールジャパン 発表①
		14	7/27	クールジャパン 発表②
15	8/3	振り返り		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	異文化理解		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・1	504	
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>教科書のテーマや会話活動を通じて日本文化と自国文化を比較し、多様な価値観への理解を深めます。自分の考えを日本語で表現し、異なる意見を尊重しながらコミュニケーションできる力を養います。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>異文化理解には唯一の答えがありません。考える過程や意見交換することが大事です。学校生活、アルバイト、地域社会など実生活で経験する場面と結びつけて考えましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	9/7	異文化理解①
		2	9/14	異文化理解②
		3	9/28	異文化理解③
		4	10/5	地域社会との関わり①
		5	10/19	地域社会との関わり②
		6	10/26	地域社会との関わり③
		7	11/2	多文化共生社会 活動準備
		8	11/9	多文化共生社会 グループ活動①
		9	11/16	多文化共生社会 グループ活動②
		10	11/30	多文化共生社会 グループ活動③
		11	12/7	多文化共生 発表練習①
		12	12/14	多文化共生 発表練習②
		13	12/21	多文化共生 発表①
		14	1/15	多文化共生 発表②
15	1/18	振り返り		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	地域観光産業研究		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	月・2	504
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	4
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>日本の地理的特徴を学び、それぞれの地域にある観光地や文化資源について理解を深めます。地理と観光の関係（自然環境、歴史、産業など）を学ぶことで、日本各地の魅力を多角的に捉えられるようになります。学んだことを元にインバウンド向け観光モデルコースを考え発表します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>自分の国の気候、文化などとの違いを比較して考えると理解が深まります。グループワークでの作業となります。協力し合いながら発表に向けて準備してください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/13	ガイダンス 日本の基本情報について
		2	4/20	北海道地方①
		3	4/27	北海道地方②
		4	5/11	北海道地方まとめ
		5	5/18	東北地方①
		6	5/25	東北地方②
		7	6/1	東北地方まとめ
		8	6/8	グループ研究
		9	6/15	グループ研究
		10	6/22	関東地方①
		11	6/29	関東地方②
		12	7/6	関東地方まとめ
		13	7/13	中部地方①
		14	7/27	中部地方②
15	8/3	中部地方まとめ		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	地域観光産業研究		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火・3	504
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	4
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>前期で学んだことを元に、外国人観光客に向けた観光紹介をテーマにグループでまとめ、発表を行います。観光客の視点を意識しながら地域の魅力を分かりやすく伝える力を養います。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>自分の国の気候、文化などとの違いを比較して考えると理解が深まります。グループワークでの作業となります。協力し合いながら発表に向けて準備してください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	9/8	近畿地方①
		2	9/15	近畿地方②
		3	9/29	近畿地方まとめ
		4	10/6	中国地方①
		5	10/13	中国地方②
		6	10/20	中国地方まとめ
		7	10/27	グループ研究
		8	11/10	グループ研究
		9	11/17	四国地方①
		10	11/24	四国地方②
		11	12/1	四国地方まとめ
		12	12/8	九州地方①
		13	12/15	九州地方②
		14	1/12	九州地方まとめ
15	1/19	振り返り		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	ビジネス日本語A		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・3	504	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>就職活動や社会で必要な日本語やビジネスマナーを身につける。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/13	ガイダンス 自己紹介① 自己紹介で話す内容	
	2	4/20	自己紹介② 好印象を与える話し方	
	3	4/27	ビジネスマナー① あいさつ	
	4	5/11	ビジネスマナー② 服装	
	2. 目標検定・資格	5	5/18	敬語の基本① 尊敬
		受験対象		
	実施日	6	5/25	敬語の基本② 謙譲
	3. 学習上の留意点	7	6/1	敬語の基本③ ウチとソト
	日本語もビジネスマナーも授業で学んだだけでは身に付きません。 学んだことは実生活で使ってみるやってみることで次第に身に付いていきます。 失敗を恐れずどんどんチャレンジしていきましょう。	8	6/8	電話のマナー・敬語
	4. テキスト	9	6/15	メールのマナー・敬語
	5. 成績評価の方法・基準	10	6/22	会社の人と話す① お願いする
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	11	6/29	会社の人と話す② 断る
		12	7/6	会社の人と話す③ お詫びする
		13	7/13	期末試験対策
	14	7/27	期末試験	
	15	8/3	期末試験FB	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	ビジネス日本語A		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・3	504	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
就職活動や社会で必要な日本語やビジネスマナーを身につける。	No.	日付	授業内容	
	1	9/7	ガイダンス 前期の復習	
	2	9/14	面接の日本語・マナー①	
	3	9/28	面接の日本語・マナー②	
	4	10/5	面接の日本語・マナー③	
	2. 目標検定・資格			
		受験対象		
	実施日			
	3. 学習上の留意点			
	日本語もビジネスマナーも授業で学んただけでは身に付きません。 学んだことは実生活で使ってみるやってみることで次第に身に付いていきます。 失敗を恐れずどんどんチャレンジしていきましょう。			
	4. テキスト			
	5. 成績評価の方法・基準			
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。			
		11	12/7	期末試験対策①
		12	12/14	期末試験対策②
	13	12/21	期末試験	
	14	1/15	期末試験FB	
	15	1/18	コミュニケーション能力アップトレーニング	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	JLPT対策A(語彙)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火・1	401
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>JLPTの文字語彙分野に特化した対策授業です。漢字の読み書き、語彙の意味理解、文脈に応じた適切な語の選択などを中心に学習します。頻出語彙や出題傾向を意識した問題演習を繰り返し行い効率的に語彙力を強化します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>効率よく語彙を覚える為、漢字は「読み・意味・例文」をセットで覚え、文脈理解を意識すること。類義語や似ている漢字の違いに注意し、使い分けを理解すること。語彙は一度に覚えるのではなく繰り返し学習が大事です。毎日短時間でも継続して学習する習慣を身に付けましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/14	演習①
		2	4/21	演習②
		3	4/28	演習③
		4	5/12	演習④
		5	5/19	演習⑤
		6	5/26	演習⑥
		7	6/2	演習⑦
		8	6/9	演習⑧
		9	6/16	演習⑨
		10	6/23	演習⑩
		11	6/30	演習⑪
		12	7/7	演習⑫
		13	7/14	演習⑬
		14	7/21	演習⑭
15	7/28	演習⑮		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	JLPT対策A(語彙)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火・1	401
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>JLPTの文字語彙分野に特化した対策授業です。漢字の読み書き、語彙の意味理解、文脈に応じた適切な語の選択などを中心に学習します。頻出語彙や出題傾向を意識した問題演習を繰り返し行い効率的に語彙力を強化します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>効率よく語彙を覚える為、漢字は「読み・意味・例文」をセットで覚え、文脈理解を意識すること。類義語や似ている漢字の違いに注意し、使い分けを理解すること。語彙は一度に覚えるのではなく繰り返し学習が大事です。毎日短時間でも継続して学習する習慣を身に付けましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	9/8	演習①
		2	9/15	演習②
		3	9/29	演習③
		4	10/6	演習④
		5	10/13	演習⑤
		6	10/20	演習⑥
		7	10/27	演習⑦
		8	11/10	演習⑧
		9	11/17	演習⑨
		10	11/24	演習⑩
		11	12/1	演習⑪
		12	12/8	演習⑫
		13	12/15	演習⑬
		14	1/12	演習⑭
15	1/19	演習⑮		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	英語TOEIC		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・2	401	
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>英語コミュニケーション能力の指標として広く活用されているTOEIC対策を行う授業です。リスニングおよびリーディングの各パートの出題形式や解答テクニックを体系的に学びながらビジネス場面で実際に役立つ英語力の向上を目指します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>TOEICのスコア向上には毎日の積み重ねが重要です。授業で学んだ内容を復習し、語彙や表現は繰り返し学習してください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/14	ガイダンス レベルチェック
		2	4/21	演習①
		3	4/28	演習②
		4	5/12	演習③
		5	5/19	演習④
		6	5/26	模擬試験 (リスニング)
		7	6/2	模擬試験 (リーディング)
		8	6/9	演習⑤
		9	6/16	演習⑥
		10	6/23	演習⑦
		11	6/30	演習⑧
		12	7/7	模擬試験 (リスニング)
		13	7/14	模擬試験 (リーディング)
		14	7/21	演習⑨
15	7/28	演習⑩		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	英語・TOEIC		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	水・3	401
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>英語コミュニケーション能力の指標として広く活用されているTOEIC対策を行う授業です。リスニングおよびリーディングの各パートの出題形式や解答テクニックを体系的に学びながらビジネス場面で実際に役立つ英語力の向上を目指します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>TOEICのスコア向上には毎日の積み重ねが重要です。授業で学んだ内容を復習し、語彙や表現は繰り返し学習してください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	9/9	演習⑪
		2	9/16	演習⑫
		3	9/30	演習⑬
		4	10/7	模擬試験 (リスニング)
		5	10/14	模擬試験 (リーディング)
		6	10/21	演習⑭
		7	10/28	演習⑮
		8	11/4	演習⑯
		9	11/11	演習⑰
		10	11/18	演習⑱
		11	11/25	模擬試験 (リスニング)
		12	12/2	模擬試験 (リーディング)
		13	12/9	演習⑲
		14	12/16	演習⑳
15	1/13	演習㉑		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	キャリアデザインA		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・3	504	
担当者	山田 優子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)						
<p>日本の就職活動を理解し、求められる能力や資格についての確認をする。</p> <p>ホテルなどの宿泊業に従事することをイメージできるようにする。</p> <p>希望する業界・職種・地域を選定し、日本で就職活動ができるよう準備をする。</p>		No.	日付	授業内容				
		1	4/14	日本での就職活動について (就労ビザ、日本語能力、日本企業のマナー)				
		2	4/21	日本の就活スケジュールについて (スケジュールの説明、選考試験とは、面接のマナー)				
		3	4/28	ホテル・旅館等「宿泊業」の業界研究				
		4	5/12	ホテル・旅館等「宿泊業」の業界研究				
		2. 目標検定・資格		5	5/19	ホテル見学ビジネスホテル		
		実施日		受験対象		6	5/26	求人票・募集内容の見方と比較の仕方 給与の額面と手取りの違い
						7	6/2	自己分析 長野キャリア形成・リスキリング支援センター
		3. 学習上の留意点		8	6/9	自己分析①		
		留學生にとって日本での就職は複雑で難しいもの に変わってきている。 社会人に求められるものを理解し、希望する就職 ができるように、積極的に聴く・書く・話すを心 がけて授業に参加すること。		9	6/16	自己分析②		
				10	6/23	就職希望調査(第1回)		
				4. テキスト		11		インターンシップとは(リゾートホテル)
		なし		12		インターンシップ(リゾートホテル)		
		5. 成績評価の方法・基準		13		インターンシップ(リゾートホテル)		
		出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授 業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14		インターンシップ(リゾートホテル)		
15	7/28			就職希望調査(第2回)と発表				
評価 試験	なし			就職希望調査やレポートの提出と内容を試験 代替りの評価とする				

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	キャリアデザインA		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木・3	504
担当者	山田 優子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
日本の就職活動を理解し、求められる能力や資格についての確認をする。 ホテルなどの宿泊業に従事することをイメージできるようにする。 希望する業界・職種・地域を選定し、日本で就職活動ができるよう準備をする。	No.	日付	授業内容
	1	9/10	求められる自分像の確認、自己分析
	2	9/17	就職希望調査(第3回)
	3	9/24	ホテル見学シティホテル
	4	9/24	ホテル見学シティホテル
	5	10/1	ビジネスホテル・リゾートホテル・シティホテルの違いや特徴について(グループワーク)
2. 目標検定・資格	受験対象		
実施日			
3. 学習上の留意点	6	10/8	ビジネスホテル・リゾートホテル・シティホテルの違いや特徴について(グループワーク)発表
留学生にとって日本での就職は複雑で難しいもの に変わってきている。 社会人に求められるものを理解し、希望する就職 ができるように、積極的に聴く・書く・話すを心 がけて授業に参加すること。	7	10/22	就職希望調査(第4回)
	8	10/29	マイナビの登録・使い方
4. テキスト	9	11/12	履歴書の書き方
	10	11/19	履歴書の書き方
なし	11	11/26	面接対策①zoom
5. 成績評価の方法・基準	12	12/3	履歴書の書き方
	13		面接対策②ハローワークキックオフ
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授 業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	14		面接対策③ハローワークキックオフ
	15	12/10	履歴書の書き方
	評価 試験	なし	就職希望調査やレポートの提出と内容を試験 代わりにの評価とする

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	パソコン基礎A		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	水・1	504
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>パソコンスキルは今後どのような仕事をするにも欠かせない技術です。 本講座では、パソコン操作の基礎、タイピング、文書作成ソフトMicrosoft Wordを学びます。</p> <p>日本のビジネス文書には一定のフォーマットがあります。効率よく美しい文書を作成できる手順、技術の習得を目指します。</p>	No.	日付	授業内容
	1	4/15	タイピング練習
<p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>1回1回の授業が大切です。欠席しないよう、健康に気をつけてください。 人によって進行状況は異なります。人と比べず自分の課題を一つ一つクリアしていきましょう。まずは日本語をパソコンで入力できるようにしていきます。ただできるようになるだけではなく、早く正確に入力することを心がけましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>	2	4/22	Windowsの基本操作
	3	5/13	Word基本操作
	4	5/20	文書作成(入力)
	5	5/27	文書作成(入力)
	6	6/3	文書作成(編集)
	7	6/10	文書作成(編集)
	8	6/17	文書作成(表作成)
	9	6/24	文書作成(表作成)
	10	7/1	文書作成(図の挿入)
	11	7/8	文書作成(図の挿入)
12	7/15	文書作成(ページ設定、印刷設定)	
13	7/22	文書作成(ページ設定、印刷設定)	
14	7/29	前期期末試験	
15	7/31	前期まとめ	
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	パソコン基礎A		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・1	504	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
前期に引き続きパソコン基礎Aの授業では、Wordをつかい、日本の一般的な書式に基づいて企画書や報告書や案内状などのビジネス文書の作成・資料の作成につながる技術を身につけます。	No.	日付 授業内容
パソコンの授業は、聴く力と練習量で確実に身につきます。授業中は目標を設定し取り組んでください。	1	9/9 書式の設定(1)
	2	9/16 書式の設定(2)
	3	9/30 書式の設定(3)
	4	10/7 文書の校正(1)
2. 目標検定・資格	5	10/14 文書の校正(2)
受験対象	6	10/21 文書の校正(3)
実施日	7	10/28 図形、画像の作成・活用(1)
3. 学習上の留意点	8	11/4 図形、画像の作成・活用(2)
日本語をパソコンで入力できるようにしていきます。ただできるようになるだけではなく、早く正確に入力することを心がけましょう。	9	11/11 スマートアートの作成(1)
1回1回の授業が大切です。欠席しないよう、健康に気をつけてください。	10	11/18 スマートアートの作成(2)
4. テキスト	11	11/25 総合学習問題(1)
なし	12	12/2 総合学習問題(2)
5. 成績評価の方法・基準	13	12/9 総合学習問題(3)
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	14	12/16 期末試験
	15	1/13 まとめ
	評価試験	なし 授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	プレゼンテーション基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・2	504	
担当者	高沢 貴子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
本講義では、日本語でのプレゼンテーション能力を段階的に育成することを目的とし、前期・後期を通して「伝わる話し方」「わかりやすい構成」「聞き手を巻き込む対話力」を総合的に身に付けます。前期はスピーチの基礎、非言語コミュニケーションを中心に、短いスピーチやミニプレゼンを繰り返しながら表現力の土台を作ります。また、緊張のメカニズムを理解し、緊張緩和とトレーニングを取り入れ、心理的ハードルを下げる内容も実践します。		No.	日付	授業内容
		1	4/15	授業の概要と目的説明 プレゼンテーションとは？
受験対象		2	4/22	プレゼンテーションに必要なこと 良いプレゼンの要素 グループワーク
		3	5/13	インタラクティブ活動：1.2の内容を自己紹介に活かす 相互質問
実施日		4	5/20	非言語①：姿勢・視線・表情
		5	5/27	非言語②：声・間・ジェスチャー
3. 学習上の留意点		6	6/3	緊張をとるトレーニング：緊張のメカニズム 呼吸法 体の力を抜くペアワーク
まずは人前で話すことに慣れ、スピーチ力、プレゼンテーション能力を高めるために、積極的な姿勢で授業に望んでください。		7	6/10	スピーチの構成：短いスピーチの型 例文分析 2分間スピーチ作成 フィードバック
		8	6/17	ストーリーテリング 2分間スピーチ インタラクティブスピーチ
4. テキスト		9	6/24	スピーチとプレゼンの違い メッセージの作り方 スライドデザイン
		10	7/1	スライドで伝える①
5. 成績評価の方法・基準		11	7/8	スライドで伝える②
		12	7/15	ミニプレゼン練習① 構成チェック フィードバック
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		13	7/22	ミニプレゼン練習② 非言語チェック フィードバック
		14	7/29	前期最終プレゼンに向けてのまとめ
評価試験		15	7/31	前期最終プレゼンテーション
		なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	プレゼンテーション基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	水・2	504
担当者	高沢 貴子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
前期で学んだ内容をさらに深め、より自然で安定したプレゼンテーションができるようにします。目的やメッセージに沿ったスライドを作成できるようにします。「自分の言葉で伝える力」を強化し、内容や表現方法だけでなく、日本語の発話力に関しても意識してプレゼンテーションを行います。学生同士の対話・協働・相互フィードバックを積極的に取り入れます。日本語での発話力・構成力・非言語表現力・対話力を総合的に高め、自信をもってプレゼンテーションに臨みます。		No.	日付	授業内容
		1	9/9	後期オリエンテーション 前期内容の振り返り
2. 目標検定・資格		2	9/16	目的・メッセージの整理：前期の型を応用し、伝えたい内容をより明確にする練習を行う
		3	9/30	構成の発展練習：話の流れをつくる OPP・PREPをもとに自然で聞きやすい流れを作る
実施日		4	10/7	3の授業の展開として、例文分析を行い、ミニスピーチに活かす
		5	10/14	スライド実践：情報の整理と選択
3. 学習上の留意点		6	10/21	スライド実践：デザイン
		7	10/28	聞き手を意識した話し方① 巻き込みの工夫
個人ワーク・グループワーク・インタラクティブな内容も多く取り入れます。主体的な姿勢で学んでください。他の授業とも連携して学びますので、関連性を意識して授業に臨んでください。		8	11/4	聞き手を意識した話し方② 対話的なプレゼン
		9	11/11	質疑応答の基礎：質問を聞き取り、簡潔に答えるための基本的な流れを学ぶ
4. テキスト		10	11/18	リハーサル① 構成と内容の確認
		11	11/25	緊張を整えるトレーニング
5. 成績評価の方法・基準		12	12/2	リハーサル② 非言語表現を意識して
		13	12/9	リハーサル③ 正確な日本語の表現（発音・イントネーション等）
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	12/16	後期最終プレゼン
		15	1/13	発表会に向けての最終練習
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	ホテルマネジメント		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	水・3	504
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
世界に誇れる日本のホスピタリティ。そのホスピタリティがあふれるホテル業界の基礎知識を学びます。ホテル業務の中心である宿泊部門に関する知識についても学習します。	No.	日付	授業内容	
	1	4/15	ホテルとは何か	
	2	4/22	ホテルの分類	
	3	5/13	ホテルの歴史	
	4	5/20	ホテル産業の特徴	
	2. 目標検定・資格	5	5/27	ホテルにおけるサービス、心得
		受験対象		
	実施日	6	6/3	ホテル内でのマナー
	3. 学習上の留意点	7	6/10	社員間のコミュニケーションとレベルアップ
	聞き慣れない専門用語が多いと思いますが、体系的に学習することで理解・習得し、日本語力も身につけてください。	8	6/17	ホテルマンに求められるスキル
	4. テキスト	9	6/24	ホテル内での様々な職種
	なし	10	7/1	宿泊部門の基礎知識 客室の構造によるタイプの分類
	5. 成績評価の方法・基準	11	7/8	宿泊部門の基礎知識 客室の名称
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	7/15	宿泊部門の基礎知識 料金設定
		13	7/22	宿泊部門の基礎知識 予約、チェックイン、チェックアウト
	14	7/29	期末テスト	
	15	7/31	まとめ	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	ホテルマネジメント		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・2	504	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
前期ではホテル業界の基礎知識からホテル業務の中心である宿泊部門について学びました。後期では飲料部門に関する専門知識とその他の関連業務について幅広く学習します。	No.	日付	授業内容
	1	9/8	飲料部門の基礎知識 ホテルの飲料施設の種類
2. 目標検定・資格	2	9/15	ホテルの朝食について
	3	9/29	料理の種類(フランス料理、中国料理、日本料理)
受験対象	4	10/6	料理の種類(フランス料理、中国料理、日本料理)
	5	10/13	ビバレッジについて(アルコール、ノンアルコール)
実施日	6	10/20	ビバレッジについて(アルコール、ノンアルコール)
3. 学習上の留意点	7	10/27	宴会の基礎知識 婚礼宴会
前期に引き続き、聞き慣れない専門用語が多いですが、理解・習得し、自信につなげてください。学んだことの上にさらなる知識を習得しましょう。 健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。	8	11/10	一般宴会
	9	11/17	一般宴会
4. テキスト	10	11/24	宴会係の仕事内容
なし	11	12/1	ホテルの安全管理 防災、食中毒
	12	12/8	ホテルの国際的なマナー
5. 成績評価の方法・基準	13	12/15	ホテルに関する法律
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	14	1/12	期末テスト
	15	1/19	まとめ
	評価	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	JLPT対策B(文法)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木・1	401
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>JLPTの文法分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/9	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認	
	2	4/23	実践問題	
	3	4/30	実践問題	
	4	5/7	模擬試験①	
	2. 目標検定・資格	5	5/14	実践問題
		受験対象		
	実施日	6	5/21	実践問題
	3. 学習上の留意点	7	5/28	実践問題
	毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。	8	6/4	模擬試験②
	4. テキスト	9	6/11	模擬試験③
	なし	10	6/25	模擬試験④
	5. 成績評価の方法・基準	11	7/2	模擬試験⑤
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	7/9	期末試験対策①
		13	7/16	期末試験対策②
	14	7/23	期末試験	
	15	7/30	期末試験FB	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	JLPT対策B(文法)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・1	401	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
JLPTの文法分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。	No.	日付	授業内容	
	1	9/10	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認	
	2	9/17	実践問題	
	3	9/24	実践問題	
	4	10/1	模擬試験①	
	2. 目標検定・資格	5	10/8	実践問題
		受験対象		
	6	10/22	実践問題	
	実施日			
	3. 学習上の留意点	7	10/29	実践問題
	毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。	8	11/12	模擬試験②
	4. テキスト	9	11/19	模擬試験③
	なし	10	11/26	模擬試験④
	5. 成績評価の方法・基準	11	12/3	模擬試験⑤
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	12/10	期末試験対策①
	13	12/17	期末試験対策②	
	14	1/8	期末試験	
	15	1/14	期末試験FB	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	JLPT対策C(聴読解)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・2	401	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
JLPTの聴読解分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。	No.	日付	授業内容
	1	4/9	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認
2. 目標検定・資格	2	4/23	実践問題
	3	4/30	実践問題
実施日	4	5/7	模擬試験①
	5	5/14	実践問題
3. 学習上の留意点	6	5/21	実践問題
	7	5/28	実践問題
4. テキスト	8	6/4	模擬試験②
	9	6/11	模擬試験③
5. 成績評価の方法・基準	10	6/25	模擬試験④
	11	7/2	模擬試験⑤
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	7/9	期末試験対策①
	13	7/16	期末試験対策②
なし	14	7/23	期末試験
	15	7/30	期末試験FB
評価試験	なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	JLPT対策C(聴読解)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・2	401	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>JLPTの聴読解分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。</p> <p>読解の長文は漢字・語彙・文法も効果的に学ぶことができます。自宅での復習として精読をおすすめします。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/10	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認
	2	9/17	実践問題
	3	9/24	実践問題
	4	10/1	模擬試験①
	5	10/8	実践問題
	6	10/22	実践問題
	7	10/29	実践問題
	8	11/12	模擬試験②
	9	11/19	模擬試験③
	10	11/26	模擬試験④
	11	12/3	模擬試験⑤
	12	12/10	期末試験対策①
	13	12/17	期末試験対策②
	14	1/8	期末試験
15	1/14	期末試験FB	
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	パソコン基礎B		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・3	504	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>パソコン基礎Bの授業の中では、日本語の入力技術の習得と並行してMicrosoft Excelの使い方を学びます。</p> <p>あらゆる業務のなかで使用されているExcelの技能を身に着けます。計算や表作成、グラフ作成など就職後も活かせるための講義を行います。</p>	No.	日付	授業内容
	1	4/9	オリエンテーション、スキルチェック
	2	4/23	Windowsの基本操作(1)
	3	4/30	Windowsの基本操作(2)
	4	5/7	Excelの基本(1)
	5	5/14	Excelの基本(2)
	6	5/21	Excelの基本(3)
	7	5/28	データの編集(1)
	8	6/4	データの編集(2)
	9	6/11	データの編集(3)
	10	6/25	表の編集(1)
	11	7/2	表の編集(2)
	12	7/9	表の編集(3)
	13	7/16	グラフの作成(1)
	14	7/23	期末試験
15	7/30	まとめ	
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	
2. 目標検定・資格	受験対象		
実施日			
3. 学習上の留意点	<p>1回1回の授業が大切です。欠席しないよう、健康に気をつけてください。</p> <p>人によって進行状況は異なります。人と比べず自分の課題を一つ一つクリアしていきましょう。</p> <p>まずは日本語をパソコンで入力できるようにしていきます。ただできるようになるだけではなく、早く正確に入力することを心がけましょう。</p>		
4. テキスト	なし		
5. 成績評価の方法・基準	<p>出席率80%以上必須</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	パソコン基礎B		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・2	504	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)				
<p>前期に引き続きExcel技能を身に着けます。作成物を作るだけでなく、合理的にかつ精度の高い処理を行うための講義を行います。</p> <p>パソコンの授業は、聴く力と練習量で確実に身につきます。自分の目標を設定し取り組んでください。</p>	No.	日付	授業内容		
	1	9/7	グラフ作成(1)		
2. 目標検定・資格		2	9/14	グラフ作成(2)	
	受験対象		3	9/28	グラフ作成(3)
実施日		4	10/5	グラフ拡張機能(1)	
		5	10/19	グラフ拡張機能(2)	
3. 学習上の留意点		6	10/26	グラフ拡張機能(3)	
	1回1回の授業が大切です。欠席しないよう、健康に気をつけてください。		7	11/2	関数(1)
4. テキスト	また、必要なテキストやUSB、筆記用具は必ず持参してください。		8	11/9	関数(2)
	なし		9	11/16	関数(3)
5. 成績評価の方法・基準			10	11/30	複数ワークシートの集計(1)
	出席率80%以上必須		11	12/7	複数ワークシートの集計(2)
A 総合評価 90点以上			12	12/14	総合学習問題(1)
B 総合評価 70点以上、90点未満			13	12/21	総合学習問題(2)
C 総合評価 60点以上、70点未満			14	1/15	期末試験
D 総合評価 60点未満→単位不認定			15	1/18	まとめ
※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		評価試験	なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	ビジネスコミュニケーション		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・1	504	
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>ビジネス現場で求められるコミュニケーション能力を身につけるため、その基礎を理解し実践も取り入れ必要とされる能力の向上を目指す。自分を理解してもらうための表現力を身に付ける。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/10	2年間の目標設定	
	2	4/17	コミュニケーションの重要性	
	3	4/24	日本の会社で働くための心構え	
	4	5/1	キャリアプランニング	
	2. 目標検定・資格	5	5/8	自己分析、他己分析
		受験対象		
	実施日	6	5/22	自分の魅力をみんなに発表しよう
	3. 学習上の留意点	7	5/29	効果的なプレゼンテーション (構成・資料の作り方)
	<p>自分の事を理解し、それを様々な形で発信していきます。チームで取り組むワークも多いので、周囲と協力する姿勢で積極的に参加してください。</p>	8	6/5	効果的なプレゼンテーション (構成・資料の作り方)
		9	6/12	価値観発見ワーク
		10	6/19	RIASECのタイプ分析
	4. テキスト	11	6/26	自分の興味・能力・価値観にあう環境/仕事の探し方
	なし	12	7/3	香りのコミュニケーション (アロマ)
	5. 成績評価の方法・基準	13	7/10	社会人の話を聞く (ゲスト講師)
<p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>	14	7/17	内定した先輩の話①	
	15	7/24	まとめ	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	ビジネスコミュニケーション		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	金・1	504
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>社会で必要なチームワークを学ぶ。チームにおいて自分自身を活かし、チームビルディングを実践できることを目指す。個々の持ち味を活かしたチームビルディングについて実践的に学んでいく。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	9/11	チームワーク①シャンパンタワー	
	2	9/18	チームワーク②協働ゲーム	
	3	9/25	発表会のテーマを考える	
	4	10/2	発表会のテーマ決定	
	2. 目標検定・資格	5	10/9	リサーチ
		受験対象		
	実施日	6	10/16	データ分析
	3. 学習上の留意点	7	10/23	資料作成
	グループワークを通じて自分の影響力や自分のチームについて考察していきます。1年生の集大成の発表会に向けてグループで課題に取り組みます。	8	10/30	資料作成
	4. テキスト	9	11/6	発表の準備
	なし	10	11/13	発表会ポスター作成
	5. 成績評価の方法・基準	11	11/20	発表会ポスター作成
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	11/27	ポスターコンテスト
		13	12/4	多様な進路について考える 特定技能についての説明
	14	12/11	2年生先輩の就職活動報告会	
	15	12/18	まとめ	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	経営学入門		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	金・2	504
担当者	小林 雅典		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
<p>一般的な経営学の基礎知識をもとに、日本の会社形態や組織の仕組みなどのビジネスの基礎を学ぶことを通じて、日本の組織で働くプロフェッショナルとしての自覚を持ち、現場で直面する問題に対して主体的に行動できる基礎能力を培うことを目的とする。</p>		No.	日付	授業内容		
		1	4/10	日本の会社・組織形態		
		2	4/17	ビジネスマナー・報連相		
		3	4/24	経営理念・経営ビジョン・行動指針		
		4	5/1	成長戦略		
		2. 目標検定・資格		5	5/8	競争戦略
		受験対象		6	5/22	イノベーション・技術革新
				実施日		7
		3. 学習上の留意点		8	6/5	ローカルビジネス
		世界と日本では、ビジネスモデルや会社の仕組みが大きく異なります。そのような違いを理解しながら、戦略や組織などについて広く学んでいきます。		9	6/12	組織構造
				10	6/19	組織文化
				11	6/26	モチベーション・リーダーシップ
		4. テキスト		12	7/3	5Sとカイゼン
		なし		13	7/10	工程分析・作業分析
		5. 成績評価の方法・基準		14	7/17	半期の振り返り
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		15	7/24	まとめ		
		評価試験	なし	※評価は各回のレポート課題		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F	
講義名	経営学入門		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	金・2	504
担当者	小林 雅典		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
一般的な経営学の基礎知識をもとに、日本の会社形態や組織の仕組みなどのビジネスの基礎を学ぶことを通じて、日本の組織で働くプロフェッショナルとしての自覚を持ち、現場で直面する問題に対して主体的に行動できる基礎能力を培うことを目的とする。		No.	日付	授業内容
		1	9/11	品質管理
2. 目標検定・資格		2	9/18	顧客満足
		3	9/25	利益構造1
実施日		4	10/2	利益構造2
		5	10/9	持続可能なビジネス (SDGs)
3. 学習上の留意点		6	10/16	マーケティング基礎1
		7	10/23	マーケティング基礎2
世界と日本では、ビジネスモデルや会社の仕組みが大きく異なります。そのような違いを理解しながら、戦略や組織などについて広く学んでいきます。		8	10/30	マーケティング基礎3
		9	11/6	マーケティングとコミュニケーション1
4. テキスト		10	11/13	マーケティングとコミュニケーション2
		11	11/20	ケーススタディ1
5. 成績評価の方法・基準		12	11/27	ケーススタディ2
		13	12/4	ケーススタディ3
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	12/11	1年間の振り返り
		15	12/18	まとめ
評価試験		なし	※評価は各回のレポート課題	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	マーケティング基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・3	401	
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	4	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになることを目的とする。 また、グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになることを目指す。		No.	日付	授業内容
		1	4/10	ガイダンス
2. 目標検定・資格		2	4/17	マーケティングは何か 概論
		3	4/24	マーケティング活動①(環境分析)
実施日		4	5/1	マーケティング活動②計画を立てる
		5	5/8	マーケティングミックス(商品戦略)
3. 学習上の留意点		6	5/22	マーケティングミックス(価格戦略)
		7	5/29	マーケティングミックス(流通戦略)
4. テキスト		8	6/5	マーケティングミックス(コミュニケーション戦略)
		9	6/12	外部講師(予定)
5. 成績評価の方法・基準		10	6/19	企業の事例研究
		11	6/26	企業の事例研究
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		12	7/3	商品企画
		13	7/10	プロモーション
評価試験		14	7/17	発表
		15	7/24	まとめ
		なし		授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	1F		
講義名	マーケティング基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・3	401	
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	4	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになることを目的とする。 また、グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになることを目指す。	No.	日付	授業内容
	1	9/11	消費者行動の理解
2. 目標検定・資格	2	9/18	市場調査
	3	9/25	製品政策
受験対象	4	10/2	価格政策
	5	10/9	チャンネル政策
実施日	6	10/16	イベント企画
3. 学習上の留意点	7	10/23	イベント準備
マーケティングを社会に出てから必要になると考え、興味を持って授業に参加してください。	8	10/30	プロモーション政策
4. テキスト	9	11/6	イベントプロモーション
	10	11/13	イベント
なし	11	11/20	イベント
5. 成績評価の方法・基準	12	11/27	発表会準備
	13	12/4	発表会準備
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	14	12/11	発表会準備
	15	12/18	まとめ
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・1	405	
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
多面的にビジネスについての基礎知識を学び、社会に出た時に役立つノウハウを広く習得することを目的とする。		No.	日付	授業内容
		1	4/13	ここまでの就職活動の振り返り
2. 目標検定・資格		2	4/20	AIツールの活用①
		3	4/27	AIツールの活用②
実施日		4	5/11	PDCAサイクル
		5	5/18	リーダーシップ
3. 学習上の留意点		6	5/25	チームマネジメント
		7	6/1	統計・データの読み方
日本企業で活躍する貴重なグローバル人材となって大きな力を発揮できるようになるという目標をもって、この科目を学習してください。		8	6/8	効果的なプレゼンテーション（構成・資料の作り方）
		9	6/15	効果的なプレゼンテーション（構成・資料の作り方）
4. テキスト		10	6/22	ビジネス文書（社内文書、社外文書）
		11	6/29	報告書の書き方
5. 成績評価の方法・基準		12	7/6	企画書の書き方
		13	7/13	会議の進め方
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	7/27	ゲスト講師
		15	8/3	まとめ
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	月・1	405
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
多面的にビジネスについての基礎知識を学び、社会に出た時に役立つノウハウを広く習得することを目的とする。	No.	日付	授業内容
	1	9/7	グローバル人材必要なスキル
2. 目標検定・資格	2	9/14	AIに代わってしまう仕事とは
	3	9/28	入社後のキャリアプラン
実施日	4	10/5	ロールモデル分析①
	5	10/19	ロールモデル分析②
3. 学習上の留意点	6	10/26	キャリアデザインマップ作成①
日本企業で活躍する貴重なグローバル人材となって大きな力を発揮できるようになるという目標をもって、この科目を学習してください。	7	11/2	キャリアデザインマップ作成②
	8	11/9	自分のキャリアプランを発表する
4. テキスト	9	11/16	税金・保険・お金について①
なし	10	11/30	税金・保険・お金について②
	11	12/7	グループワーク（発表会にむけて）
5. 成績評価の方法・基準	12	12/14	グループワーク（発表会にむけて）
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	13	12/21	グループワーク（発表会にむけて）
	14	1/15	グループワーク（発表会にむけて）
	15	1/18	グローバル企業で活躍する社会人の話
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ビジネス日本語		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・2	405	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
就職活動や社会で必要な日本語やビジネスマナーを身につける。	No.	日付	授業内容
	1	4/13	ガイダンス 自己紹介
	2	4/20	お礼状の書き方① メール
	3	4/27	お礼状の書き方② メール
	4	5/11	お礼状の書き方③ 手紙
	5	5/18	お礼状の書き方④ 手紙
	6	5/25	報告書の書き方①
	7	6/1	報告書の書き方②
	8	6/8	職場のマナー①
	9	6/15	職場のマナー②
	10	6/22	報連相①
	11	6/29	報連相②
	12	7/6	電話のマナー
	13	7/13	メールのマナー
	14	7/27	期末試験
15	8/3	期末試験FB	
2. 目標検定・資格	受験対象		
実施日			
3. 学習上の留意点			
日本語もビジネスマナーも授業で学んただけでは身に付きません。 学んだことは実生活で使ってみるやってみることで次第に身に付いていきます。 失敗を恐れずどんどんチャレンジしていきましょう。			
4. テキスト	なし		
5. 成績評価の方法・基準			
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。			
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ビジネス日本語B		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・2	405	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
就職活動や社会で必要な日本語やビジネスマナーを身につける。	No.	日付	授業内容	
	1	9/7	ガイダンス 前期の復習	
	2	9/14	日本語スキルアップ① 誘う	
	3	9/28	日本語スキルアップ② お願いする	
	4	10/5	日本語スキルアップ③ 断る	
	2. 目標検定・資格	5	10/19	日本語スキルアップ④ 申し出る
		受験対象		
	実施日	6	10/26	日本語スキルアップ⑤ おわびする
	3. 学習上の留意点	7	11/2	日本語スキルアップ⑥ 意見を言う
	日本語もビジネスマナーも授業で学んただけでは身に付きません。 学んだことは実生活で使ってみるやってみることで次第に身に付いていきます。 失敗を恐れずどんどんチャレンジしていきましょう。	8	11/9	日本語スキルアップ⑦ 予約を受ける
	4. テキスト	9	11/16	日本語スキルアップ⑧ 相談を受ける
	なし	10	11/30	日本語スキルアップ⑨ 報告をする
	5. 成績評価の方法・基準	11	12/7	期末試験対策①
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	12/14	期末試験対策②
		13	12/21	期末試験
	14	1/15	期末試験FB	
	15	1/18	社会人基礎力アップトレーニング	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ホテル実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・3	405	
担当者	児野 昌代		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容		様々なホテル業務を実践的に学ぶ。					

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
ホテルの業務は様々です。フロント業務について復習、そしてラウンジ、ショップ、コンシェルジュ、広報、PR等サービス業全般について学び、行動できることを目指します。		No.	日付	授業内容
		1	4/13	オリエンテーション・日本のホテル業界
2. 目標検定・資格		2	4/20	ホテルの種類と部署
		3	4/27	身だしなみ・立ち居振る舞い
なし		4	5/11	言葉遣い・敬語
		5	5/18	コミュニケーション基礎
実施日		6	5/25	フロント業務・客室タイプ
3. 学習上の留意点		7	6/1	ロビー案内ロールプレイ
フロント業務はホテル内の知識が必要となります。ロールプレイングを通して、様々な業務を実践から学びましょう。		8	6/8	フロントチェックイン・アウトロールプレイ
		9	6/15	フロント電話予約ロールプレイ
4. テキスト		10	6/22	ホテル内の案内・周辺観光
必要な時に配布します。		11	6/29	クレーム対応
		12	7/6	レストランサービス・オーダーテイク
5. 成績評価の方法・基準		13	7/13	料理・飲料の基礎、アレルギー対応
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	7/27	日本料理テーブルマナー・箸使い
		15	8/3	前期のまとめ
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ホテル実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	月・3	405	
担当者	児野 昌代		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容		様々なホテル業務を実践的に学ぶ。					

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
ホテルの業務は様々です。フロント業務について復習、そしてラウンジ、ショップ、コンシェルジュ、広報、PR等サービス業全般について学び、行動できることを目指します。		No.	日付	授業内容
		1	9/7	ナプキンの折方とテーブルセッティング
2. 目標検定・資格		2	9/14	西洋料理テーブルマナー
		3	9/28	食品衛生・コンプライアンス
なし		4	10/5	インバウンド対応
		5	10/19	日本の行事とホテルイベント
実施日		6	10/26	企画(メニュー作り)
3. 学習上の留意点		7	11/2	中国料理・イタリア料理基礎
フロント業務はホテル内の知識が必要となります。ロールプレイングを通して、様々な業務を実践から学びましょう。		8	11/9	宴会・ブライダル基礎
		9	11/16	コンシェルジュロープレ
4. テキスト		10	11/30	最新ホテル情報
必要な時に配布します。		11	12/7	ホテル会計基礎・料金構造
		12	12/14	グリーティングカード作り
5. 成績評価の方法・基準		13	12/21	集客の考え方・SNS・口コミ
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	1/15	キャリアデザイン
		15	1/18	後期のまとめ
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	JLPT対策D(語彙)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・1	401	
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>JLPTの文字語彙分野に特化した対策授業です。漢字の読み書き、語彙の意味理解、文脈に応じた適切な語の選択などを中心に学習します。頻出語彙や出題傾向を意識した問題演習を繰り返し行い効率的に語彙力を強化します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>効率よく語彙を覚える為、漢字は「読み・意味・例文」をセットで覚え、文脈理解を意識すること。類義語や似ている漢字の違いに注意し、使い分けを理解すること。語彙は一度に覚えるのではなく繰り返し学習が大事です。毎日短時間でも継続して学習する習慣を身に付けましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>	No.	日付	授業内容
	1	4/14	演習①
	2	4/21	演習②
	3	4/28	演習③
	4	5/12	演習④
	5	5/19	演習⑤
	6	5/26	演習⑥
	7	6/2	演習⑦
	8	6/9	演習⑧
	9	6/16	演習⑨
	10	6/23	演習⑩
	11	6/30	演習⑪
	12	7/7	演習⑫
	13	7/14	演習⑬
	14	7/21	演習⑭
15	7/28	演習⑮	
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	JLPT対策D(語彙)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・1	401	
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>JLPTの文字語彙分野に特化した対策授業です。漢字の読み書き、語彙の意味理解、文脈に応じた適切な語の選択などを中心に学習します。頻出語彙や出題傾向を意識した問題演習を繰り返し行い効率的に語彙力を強化します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>効率よく語彙を覚える為、漢字は「読み・意味・例文」をセットで覚え、文脈理解を意識すること。類義語や似ている漢字の違いに注意し、使い分けを理解すること。語彙は一度に覚えるのではなく繰り返し学習が大事です。毎日短時間でも継続して学習する習慣を身に付けましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/8	演習①
	2	9/15	演習②
	3	9/29	演習③
	4	10/6	演習④
	5	10/13	演習⑤
	6	10/20	演習⑥
	7	10/27	演習⑦
	8	11/10	演習⑧
	9	11/17	演習⑨
	10	11/24	演習⑩
	11	12/1	演習⑪
	12	12/8	演習⑫
	13	12/15	演習⑬
	14	1/12	演習⑭
15	1/19	演習⑮	
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	英語TOEIC		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火・2	401
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>英語コミュニケーション能力の指標として広く活用されているTOEIC対策を行う授業です。リスニングおよびリーディングの各パートの出題形式や解答テクニックを体系的に学びながらビジネス場面で実際に役立つ英語力の向上を目指します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>TOEICのスコア向上には毎日の積み重ねが重要です。授業で学んだ内容を復習し、語彙や表現は繰り返し学習してください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/14	ガイダンス レベルチェック
		2	4/21	演習①
		3	4/28	演習②
		4	5/12	演習③
		5	5/19	演習④
		6	5/26	模擬試験 (リスニング)
		7	6/2	模擬試験 (リーディング)
		8	6/9	演習⑤
		9	6/16	演習⑥
		10	6/23	演習⑦
		11	6/30	演習⑧
		12	7/7	模擬試験 (リスニング)
		13	7/14	模擬試験 (リーディング)
		14	7/21	演習⑨
15	7/28	演習⑩		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	英語・TOEIC		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・3	401	
担当者	永山 友希江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>英語コミュニケーション能力の指標として広く活用されているTOEIC対策を行う授業です。リスニングおよびリーディングの各パートの出題形式や解答テクニックを体系的に学びながらビジネス場面で実際に役立つ英語力の向上を目指します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>TOEICのスコア向上には毎日の積み重ねが重要です。授業で学んだ内容を復習し、語彙や表現は繰り返し学習してください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	9/9	演習⑪
		2	9/16	演習⑫
		3	9/30	演習⑬
		4	10/7	模擬試験 (リスニング)
		5	10/14	模擬試験 (リーディング)
		6	10/21	演習⑭
		7	10/28	演習⑮
		8	11/4	演習⑯
		9	11/11	演習⑰
		10	11/18	演習⑱
		11	11/25	模擬試験 (リスニング)
		12	12/2	模擬試験 (リーディング)
		13	12/9	演習⑲
		14	12/16	演習⑳
15	1/13	演習㉑		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	パソコン応用A		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・3	405	
担当者	玉木 智美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
1年時に学んだことを総合的に活用し、ビジネスシーンで使われる文書・視覚的資料の作成ができるようになる。 年度末には文書処理技能認定試験レベルの問題に取り組めるようになる。		No.	日付	授業内容
		1	4/14	文字入力復習 社内文書・社外文書
2. 目標検定・資格		2	4/21	表の復習 出張報告書作成
		3	4/28	表の入った文書作成
実施日		4	5/12	メール文書作成 ファイル添付
		5	5/19	細かなページ設定 段落書式
3. 学習上の留意点		6	5/26	置換機能 文書校正
欠席しないよう心がけましょう。 それぞれ進行状況は違いますが焦らずに、仕事に役立つスキルを着実に身に付けられるよう、一つずつ課題をクリアにしていってください。		7	6/2	タブを使ったメニュー表作成
		8	6/9	ショップカード作成(ラベル)
4. テキスト		9	6/16	職務経歴書 タイピング
授業ごと内容に応じたテキストを印刷して配布		10	6/23	職務経歴書 体裁 文字書式・段落書式
		11	6/30	契約書の作成 インデント
5. 成績評価の方法・基準		12	7/7	請求書・見積書の作成
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		13	7/14	テスト対策問題
		14	7/21	期末テスト
		15	7/28	前期まとめ
		評価試験	あり	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	パソコン応用A		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	火・3	405	
担当者	玉木 智美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
1年時に学んだことを総合的に活用し、ビジネスシーンで使われる文書・視覚的資料の作成ができるようになる。	No.	日付	授業内容
年度末には文書処理技能認定試験レベルの問題に取り組めるようになる。	1	9/8	前期復習
	2	9/15	長文作成 アウトライン
	3	9/29	長文作成 セクション区切り
	4	10/6	コメントの挿入・文書のプロパティ ヘッダーフッターの編集
2. 目標検定・資格	5	10/13	差し込み文書作成
	6	10/20	差し込み文書作成
実施日	7	10/27	新聞作成 画像の挿入・段組み
3. 学習上の留意点	8	11/10	新聞作成 画像の挿入・段組み
欠席しないよう心がけましょう。 それぞれ進行状況は異なりますが焦らずに、仕事に役立つスキルを着実に身に付けられるよう、一つずつ課題をクリアにしていってください。	9	11/17	オリジナルポスター作り
4. テキスト	10	11/24	グラフの入った資料作成
授業ごと内容に応じたテキストを印刷して配布	11	12/1	グラフの入った資料作成
5. 成績評価の方法・基準	12	12/8	模擬問題 文書処理技能認定試験相当
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	13	12/15	期末テスト
	14	1/12	模擬問題 文書処理技能認定試験相当
	15	1/19	まとめ
	評価試験	あり	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	ビジネスプレゼンテーション	回数	講義期間	曜日・時限	教室	
		15	通年	水・1	405	
担当者	高沢 貴子	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
		有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>本授業では、社会で必要とされる「伝える力を育成し、就職活動や面接でも活かせる実践的なプレゼンテーション力を身に付けることを目的とします。前期では、1年次に学んだプレゼンの基礎を復習しながら、自己紹介・自己PR・アルバイト経験など、学生自身が話しやすい題材を中心に取り組みます。経験を整理し仕事で求められる力として言語化する練習を通して、面接で必要となる「自分の行動を説明する力」「強味を具体的に語る力」を話し方の学びと同時に育てます。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>自己紹介・自己PRのために、自己理解の項目も入ります。他の授業でも学んだ自己理解も参考に、さらに深める意識で臨んでください。シラバスの内容には記載されていませんが、日本人が聞き取りやすい発話や他者に話す言葉（敬語等）も学んでいきます。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>	No.	日付	授業内容
	1	4/15	オリエンテーション 2年次のビジネスプレゼンテーションの内容 社会で使うプレゼンとは？
	2	4/22	スピーチの基本復習： 1年次に習ったポイントを意識して「自己紹介」の構成を考える
	3	5/13	2の内容をスピーチ
	4	5/20	自己紹介+自己PRをテーマのスピーチに向けて ①自己理解を深める
	5	5/27	②自己理解を深める
	6	6/3	③アルバイトでの経験の整理 仕事内容の説明 必要とされている能力（接客業に共通する視点）
	7	6/10	④アルバイトの仕事の中で、どのように①②の能力を発揮したか スピーチの構成を考える
	8	6/17	面接対策にもなることを意識して、4.5.6.7回の授業内容をまとめた4分のスピーチ原稿を作る
	9	6/24	各自スピーチ練習 グループ内での練習とフィードバック
	10	7/1	スピーチ発表（全5分） 動画を撮る 聴者は発表者のためのフィードバック用シートを作成する
	11	7/8	動画・聴者からのフィードバックから振り返り、良い点・改善点をまとめる 時間の確認
	12	7/15	改善点を明確に提示してから、改めてスピーチをする（13回の授業）ための練習 時間意識
	13	7/22	改善点を明確に提示してから、改めてスピーチの発表 その後、成果確認
	14	7/29	期末試験
15	7/31	前期のまとめ	
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ビジネスプレゼンテーション		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・1	405	
担当者	高沢 貴子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>後期では、前期で身に付けた基礎力をもとに、社会で使えるプレゼンの型を段階的に広げていきます。多様な形式を実践し、論理性、構成力、瞬発力を高めます。これらのスキルは、面接での「質問への回答」「経験の説明」「志望動機の説得力」に直結するため、授業全体を通して面接対策としての実践性も習得できます。最終発表では、自己PRと企画・課題解決を組み合わせた総合プレゼンを行い、社会で求められる発信力に自信を持てるよう学びます。</p>		No.	日付	授業内容
		1	9/9	前期の振り返りと後期の目標 社会で使うプレゼンとは? グループで話し合う
2. 目標検定・資格		2	9/16	説明プレゼン①：わかりやすく伝える技術
		3	9/30	説明プレゼン②：情報を整理して伝える PREP法の復習
<p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p>		4	10/7	比較プレゼン：AとBを比べて説明する
		5	10/14	ストーリープレゼン：経験を物語として伝える 面接でも使えるSTAR法
実施日		6	10/21	自己PRのブラッシュアップ 授業内容を活かして 前期自己PRを「仕事で活かせる力」として再構成
3. 学習上の留意点		7	10/28	課題解決プレゼン①：問題を見つける
<p>後期は具体例を示し、グループでのディスカッションを多く取り入れます。グループでの発言も面接対策になります。その意識を忘れずに言葉遣い等も考え、ディスカッションに参加してください。</p>		8	11/4	課題解決プレゼン②：解決策を提案する
		9	11/11	企画プレゼン①：アイデアを形にする
4. テキスト		10	11/18	企画プレゼン②：全体構成を考える
なし		11	11/25	7.8.9.10の授業を活かし、スライド作成
		12	12/2	11で作成したスライドを使用し、プレゼンをする
5. 成績評価の方法・基準		13	12/9	即興プレゼン：アドリブ力をつける 面接の想定外の質問にも対応できる力をつける
<p>出席率80%以上必須</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		14	12/16	期末試験
		15	1/13	後期のまとめ
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	キャリアデザインB		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・2	405	
担当者	山田 優子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>日本での就職活動を開始し、希望の企業に内定をもらえるようにする。就職活動に必要な面接練習、電話練習、メールの返信・送信を学ぶ。就職後に必要なビジネスマナーなども習得する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/15	就職活動の進行状況の確認、公欠について・活動報告の仕方の確認
2. 目標検定・資格		2	4/22	SPI対策
		3	5/13	SPI対策
<p>実施日</p>		4	5/20	就活用メールの書き方
		5	5/27	就活用メールの書き方
3. 学習上の留意点		6	6/3	言葉使い（就活用敬語の使い方）
		7	6/10	言葉使い（就活用敬語の使い方）
<p>日本で就職内定をもらえるように、また就職先でスムーズに働くことができるように意欲的に授業に参加すること。就職するのは自分自身であることをしっかり理解して受講する。</p>		8	6/17	就職希望調査
		9	6/24	電話（就活用・内定後電話のかけ方、受け方）
4. テキスト		10	7/1	電話（就活用・内定後電話のかけ方、受け方）
		11	7/8	日本のビジネスマナー①（ギフト、座る場所、エレベーターの場所 等）
5. 成績評価の方法・基準		12	7/15	日本のビジネスマナー②（自己紹介）
		13	7/22	日本のビジネスマナー③（話し方の心がまえ）
<p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		14	7/29	日本のビジネスマナー④（食事）
		15	7/31	就職活動中間報告
		評価試験	なし	レポートの提出や、活動報告の内容を試験評価の代わりとする

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	キャリアデザインB		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・2	405	
担当者	山田 優子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
日本での就職活動を開始し、希望の企業に内定をもらえるようにする。就職活動に必要な面接練習、電話練習、メールの返信・送信を学ぶ。就職後に必要なビジネスマナーなども習得する。		No.	日付	授業内容
		1	9/9	就職活動の進行状況の確認、今後の予定
2. 目標検定・資格		2	9/16	自分の将来の目標について
		3	9/30	就職用メールの書き方
実施日		4	10/7	就職用メールの書き方
		5	10/14	日本のビジネスマナー⑤(お茶の出し方)
3. 学習上の留意点		6	10/21	日本のビジネスマナー⑥(お茶の出し方)
		7	10/28	日本のビジネスマナー⑦(名刺)
日本では就職内定をもらえるように、また就職先でスムーズに働くことができるように意欲的に授業に参加すること。就職するのは自分自身であることをしっかり理解して受講する。		8	11/4	日本のビジネスマナー⑧(冠婚葬祭/結婚式)
		9	11/11	日本のビジネスマナー⑨(冠婚葬祭/葬儀)
4. テキスト		10	11/18	これからの活動の流れ
		11	11/25	日本のビジネスマナー⑩電話練習
5. 成績評価の方法・基準		12	12/2	仕事で使う漢字
		13	12/9	自分の将来の目標について
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	12/16	入社までに用意すること、もの
		15	1/13	社会人になる皆さんへ
		評価 試験	なし	レポートの提出や、活動報告の内容を試験評価の代わりとする

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ホスピタリティ		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	水・3	405	
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
<p>ホスピタリティ・ビジネスの具体的事例から、サービスや接客をする上での大切なことは何かをディスカッションをしながらみんなで考えていきます。身近なところにある様々なホスピタリティに目を向け、そのマインドを学びます。</p>		No.	日付	授業内容		
		1	4/15	ホスピタリティマインドとは		
		2	4/22	私たちを取り巻く人間関係とホスピタリティマインド		
		3	5/13	自分自身について理解を深める		
		4	5/20	マイナス思考とプラス思考		
		2. 目標検定・資格		5	5/27	他者理解・他者受容
			受験対象	6	6/3	自分のものの見方を知る
		実施日		7	6/10	相手を受け入れることの重要性
		3. 学習上の留意点		8	6/17	ポジティブシンキング
		<p>授業では、自分の身近にあるホスピタリティを取り上げ、発表をします。また、ホスピタリティ産業の方の話を聞いたり、課題をテーマにディスカッションなどをしていきます。</p>		9	6/24	望ましいストロークとホスピタリティマインド
				10	7/1	望ましい聴き方(傾聴)
				11	7/8	ストロークの理解
		4. テキスト		12	7/15	身近にあるホスピタリティの観察
		なし		13	7/22	発表(私が考えるホスピタリティとは)
		5. 成績評価の方法・基準		14	7/29	ゲスト講師(予定)
<p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		15	7/31	まとめ		
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	ホスピタリティ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火・2	405
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
ホスピタリティ・ビジネスの具体的事例から、サービスや接客をする上での大切なことは何かをディスカッションをしながらみんなで考えていきます。身近なところにある様々なホスピタリティに目を向け、そのマインドを学びます。		No.	日付	授業内容
		1	9/8	ホスピタリティ産業について
2. 目標検定・資格		2	9/15	モノ的サービスとヒト的サービス
		3	9/29	CSと顧客心理
実施日		4	10/6	サービスにおける7つの大罪
		5	10/13	ディズニーにおけるおもてなしの心
3. 学習上の留意点		6	10/20	リッツカールトンのサービス
授業では、自分の身近にあるホスピタリティを取り上げ、発表をします。また、ホスピタリティ産業の方の話を聞いたり、課題をテーマにディスカッションなどをしていきます。		7	10/27	星野リゾートのホスピタリティ
		8	11/10	事例研究①
4. テキスト		9	11/17	事例研究②
なし		10	11/24	事例研究③
		11	12/1	事例研究④
5. 成績評価の方法・基準		12	12/8	事例研究⑤
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		13	12/15	ゲスト講師(予定)
		14	1/12	最高のホスピタリティとは
		15	1/19	まとめ
		評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	JLPT対策E(文法)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・1	401	
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>JLPTの文法分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/9	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認	
	2	4/23	実践問題	
	3	4/30	実践問題	
	4	5/7	模擬試験①	
	2. 目標検定・資格	5	5/14	実践問題
		受験対象		
	実施日	6	5/21	実践問題
	3. 学習上の留意点	7	5/28	実践問題
	毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。	8	6/4	模擬試験②
	4. テキスト	9	6/11	模擬試験③
	なし	10	6/25	模擬試験④
	5. 成績評価の方法・基準	11	7/2	模擬試験⑤
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	7/9	期末試験対策①
		13	7/16	期末試験対策②
	14	7/23	期末試験	
	15	7/30	期末試験FB	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	JLPT対策E(文法)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木・1	401
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)	
JLPTの文法分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。		No.	日付
		授業内容	
2. 目標検定・資格		1	9/10
		ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認	
受験対象		2	9/17
		実践問題	
実施日		3	9/24
		実践問題	
3. 学習上の留意点		4	10/1
		模擬試験①	
毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。		5	10/8
		実践問題	
4. テキスト		6	10/22
		実践問題	
なし		7	10/29
		実践問題	
5. 成績評価の方法・基準		8	11/12
		模擬試験②	
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		9	11/19
		模擬試験③	
評価試験		10	11/26
		模擬試験④	
		11	12/3
		模擬試験⑤	
		12	12/10
		期末試験対策①	
		13	12/17
		期末試験対策②	
		14	1/8
		期末試験	
		15	1/14
		期末試験FB	
		なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	JLPT対策F(聴読解)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木・2	401
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>JLPTの聴読解分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。</p> <p>読解の長文は漢字・語彙・文法も効果的に学ぶことができます。自宅での復習として精読をおすすめします。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>	No.	日付	授業内容
	1	4/9	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認
	2	4/23	実践問題
	3	4/30	実践問題
	4	5/7	模擬試験①
	5	5/14	実践問題
	6	5/21	実践問題
	7	5/28	実践問題
	8	6/4	模擬試験②
	9	6/11	模擬試験③
	10	6/25	模擬試験④
	11	7/2	模擬試験⑤
	12	7/9	期末試験対策①
	13	7/16	期末試験対策②
	14	7/23	期末試験
15	7/30	期末試験FB	
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	JLPT対策F(聴読解)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木・2	401
担当者	森 実紀		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	2
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
JLPTの聴読解分野について、実戦的な問題演習で合格に向けた実力養成を行う。	No.	日付	授業内容
	1	9/10	ガイダンス ・授業の進め方、成績のつけ方 ・授業ルール確認
2. 目標検定・資格	2	9/17	実践問題
	3	9/24	実践問題
受験対象	4	10/1	模擬試験①
	5	10/8	実践問題
実施日	6	10/22	実践問題
3. 学習上の留意点	7	10/29	実践問題
毎回JLPTと同じ形式の問題演習をします。正解すればいいわけではありません。どうして正解できたのか、どうして間違えたのかを確認しながら学習を進めてください。	8	11/12	模擬試験②
読解の長文は漢字・語彙・文法も効果的に学ぶことができます。自宅での復習として精読をおすすめします。	9	11/19	模擬試験③
4. テキスト	10	11/26	模擬試験④
なし	11	12/3	模擬試験⑤
5. 成績評価の方法・基準	12	12/10	期末試験対策①
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	13	12/17	期末試験対策②
	14	1/8	期末試験
	15	1/14	期末試験FB
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	ゼミナール		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木・3	405
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	4
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>「国内観光地理」を学び、日本国内の観光地の知識を深める。またこれまで学んだ観光業全般に関する知識を使って、研修旅行のプランを自ら立てることで知識の定着を図る。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>地図やインターネット、ガイドブック等を使って、自ら旅行をプランニングします。自分で様々な方法で情報収集し、クラスの研修旅行をプランニングします。</p> <p>4. テキスト</p> <p>なし</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/9	旅行企画の立て方
		2	4/23	観光地理①
		3	4/30	観光地理②
		4	5/7	観光地理③
		5	5/14	旅行企画の研究①
		6	5/21	旅行企画の研究②
		7	5/28	発表
		8	6/4	研修旅行の企画(グループワーク)
		9	6/11	研修旅行の企画(グループワーク)
		10	6/25	研修旅行の企画(グループワーク)
		11	7/2	研修旅行の企画(グループワーク)
		12	7/9	発表資料作成
		13	7/16	発表資料作成
		14	7/23	発表(研修旅行決定)
15	7/30	まとめ		
評価試験	なし	授業内で期末試験を行う		

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	ゼミナール		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木・3	405	
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	4	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
2年間の集大成として、自分の興味ある分野のテーマを選び、研究します。仮説、検証、リサーチ、データ分析、フィールドワーク等を行い、最後にまとめとして、優秀者が発表会でその成果を発表します。	No.	日付	授業内容	
	1	9/10	テーマ設定	
	2	9/17	テーマ設定	
	3	9/24	リサーチ	
	4	10/1	リサーチ	
	2. 目標検定・資格	5	10/8	リサーチ
		受験対象		
	実施日	6	10/22	データ分析
	3. 学習上の留意点	7	1/2	フィールドワーク
	自分で決めたテーマについて、文献を調べたり、フィールドワークを行ったり、主体的に研究活動を行ってください。	8	11/12	フィールドワーク
	4. テキスト	9	11/19	中間報告
	なし	10	11/26	資料作成
	5. 成績評価の方法・基準	11	12/3	資料作成
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	12/10	資料作成
		13	12/17	グループ発表
	14	1/8	優秀グループ選出	
	15	1/14	まとめ	
	評価試験	なし	授業内で期末試験を行う	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	マネジメント概論		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・1	405	
担当者	小林 雅典		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>戦略的マネジメントの考え方をもとに、各領域でのマネジメントやコミュニケーションの考え方を学ぶことを通じて、日本社会において自立したキャリアを切り拓くための「自分を経営する力」を培うことを目的とする。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/10	マネジメントとは何か	
	2	4/17	ステークホルダーマネジメント	
	3	4/24	ミッションマネジメント	
	4	5/1	内部資源の最適化	
	2. 目標検定・資格	5	5/8	業界分析とポジショニング
		受験対象		
	6	5/22	ビジネスモデルの変革	
	実施日			
	3. 学習上の留意点	7	5/29	アライアンスと補完関係
	単なるフレームワークの理解だけではなく、その考えを自分自身に当てはめ、実生活で活用していく視点も取り入れ、学んでいきます。	8	6/5	エリアマネジメントと市場創造
	4. テキスト	9	6/12	組織マネジメントの高度化
	なし	10	6/19	カルチャーマネジメント
	5. 成績評価の方法・基準	11	6/26	人的資源マネジメント
	出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	12	7/3	オペレーショナルエクセレンス
	13	7/10	業務プロセスマネジメント	
	14	7/17	半期の振り返り	
	15	7/24	まとめ	
	評価試験	なし	※評価は各回のレポート課題	

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	マネジメント概論		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・1	405	
担当者	小林 雅典		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
<p>戦略的マネジメントの考え方をもとに、各領域でのマネジメントやコミュニケーションの考え方を学ぶことを通じて、日本社会において自立したキャリアを切り拓くための「自分を経営する力」を培うことを目的とする。</p>		No.	日付	授業内容		
		1	9/11	クオリティマネジメント		
		2	9/18	マーケティングマネジメント		
		3	9/25	バリューチェーン分析		
		4	10/2	ファイナンシャルマネジメント		
		2. 目標検定・資格		5	10/9	サステナビリティマネジメント
			受験対象	6	10/16	マーケティング応用1
		実施日		7	10/23	マーケティング応用2
		3. 学習上の留意点		8	10/30	マーケティング応用3
		単なるフレームワークの理解だけではなく、その考えを自分自身に当てはめ、実生活で活用していく視点も取り入れ、学んでいきます。		9	11/6	マーケティングとコミュニケーション1
		4. テキスト		10	11/13	マーケティングとコミュニケーション2
		なし		11	11/20	ケーススタディ1
		5. 成績評価の方法・基準		12	11/27	ケーススタディ2
		出席率80%以上必須		13	12/4	ケーススタディ3
		A 総合評価 90点以上		14	12/11	1年間の振り返り
B 総合評価 70点以上、90点未満		15	12/18	まとめ		
C 総合評価 60点以上、70点未満		評価	なし	※評価は各回のレポート課題		
D 総合評価 60点未満→単位不認定		試験	なし			
※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。						

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	パソコン応用B		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・2	405	
担当者	玉木 智美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
1年時に学んだことを総合的に活用し、ビジネスシーンで使われるExcelのデータ処理をマスターする。		No.	日付	授業内容
		1	4/10	基本の表作成(復習)
年度末に表計算処理技能認定試験レベルの問題に取り組めるようになる。		2	4/17	基本の表作成(復習)
		3	4/24	条件付き書式
2. 目標検定・資格		4	5/1	テーブル機能
		5	5/8	集計機能
受験対象		6	5/22	フィルターオプション
実施日		7	5/29	IF・SUMIF関数 データ検索
3. 学習上の留意点		8	6/5	文字列操作関数 名前の定義
欠席しないよう心がけましょう。 それぞれ進行状況は異なりますが焦らずに、仕事に役立つスキルを着実に身に付けられるよう、一つずつ課題をクリアにしていってください。		9	6/12	日付・時刻関数 関数のネスト
		10	6/19	データベース関数
4. テキスト		11	6/26	ピボットテーブル
授業ごと内容に応じたテキストを印刷して配布		12	7/3	ピボットテーブル
5. 成績評価の方法・基準		13	7/10	テスト対策問題
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		14	7/17	期末テスト
		15	7/24	前期まとめ
		評価試験	あり	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F		
講義名	パソコン応用B		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	金・2	405	
担当者	玉木 智美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	2	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
1年時に学んだことを総合的に活用し、ビジネスシーンで使われるExcelのデータ処理をマスターする。	No.	日付	授業内容
	1	9/11	グラフ復習 複合グラフ
年度末に表計算処理技能認定試験レベルの問題に取り組めるようになる。	2	9/18	グラフ復習 複合グラフ
	3	9/25	Word・Excel アプリ間の連携
2. 目標検定・資格	4	10/2	シートの保護 入力規則
	5	10/9	マクロの記録・実行
受験対象	6	10/16	家計簿作成
実施日	7	10/23	リストの作成、参照
3. 学習上の留意点	8	10/30	売上日報作成
欠席しないよう心がけましょう。 それぞれ進行状況は異なりますが焦らずに、仕事に役立つスキルを着実に身に付けられるよう、一つずつ課題をクリアにしていってください。	9	11/6	給与計算書作成
4. テキスト	10	11/13	請求書・見積書作成
授業ごと内容に応じたテキストを印刷して配布	11	11/20	収支決算報告書作成
5. 成績評価の方法・基準	12	11/27	模擬問題 (表計算処理技能認定試験相当)
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	13	12/4	模擬問題 (表計算処理技能認定試験相当)
	14	12/11	期末テスト
	15	12/18	まとめ
	評価試験	あり	授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	マーケティング実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	金・3	401
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	4
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになることを目的とする。 また、グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになることを目指す。	No.	日付 授業内容
	1	4/10 ガイダンス
	2	4/17 マーケティングは何か 概論
	3	4/24 マーケティング活動①(環境分析)
	4	5/1 マーケティング活動②計画を立てる
2. 目標検定・資格	5	5/8 マーケティングミックス(商品戦略)
受験対象	6	5/22 マーケティングミックス(価格戦略)
実施日	7	5/29 マーケティングミックス(流通戦略)
3. 学習上の留意点	8	6/5 マーケティングミックス(コミュニケーション戦略)
マーケティングを社会に出てから必要になると考え、興味を持って授業に参加してください。	9	6/12 外部講師(予定)
	10	6/19 企業の事例研究
4. テキスト	11	6/26 企業の事例研究
なし	12	7/3 商品企画
5. 成績評価の方法・基準	13	7/10 プロモーション
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	14	7/17 発表
	15	7/24 まとめ
	評価試験	なし 授業内で期末試験を行う

科名	国際ビジネス科	コース名	接客サービス・マネジメント	学年・クラス	2F	
講義名	マーケティング実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	金・3	401
担当者	荻矢 貴美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	演習	4
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになることを目的とする。 また、グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになることを目指す。	No.	日付 授業内容
	1	9/11 消費者行動の理解
2. 目標検定・資格	2	9/18 市場調査
	3	9/25 製品政策
受験対象	4	10/2 価格政策
	5	10/9 チャンネル政策
実施日	6	10/16 イベント企画
3. 学習上の留意点	7	10/23 イベント準備
マーケティングを社会に出てから必要になると考え、興味を持って授業に参加してください。	8	10/30 プロモーション政策
4. テキスト	9	11/6 イベントプロモーション
	10	11/13 イベント
なし	11	11/20 イベント
5. 成績評価の方法・基準	12	11/27 発表会準備
	13	12/4 発表会準備
出席率80%以上必須 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※授業における活動、課題等による評価点数(60%)に、授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。	14	12/11 発表会準備
	15	12/18 まとめ
	評価試験	なし 授業内で期末試験を行う